


ステップ4

リスク低減対策の検討と実施

■リスク評価に従い、リスク低減対策を検討し、実施しましょう。

- 誰が行うか  事業者や現場管理者が中心になって
- 許容可能なリスクレベルを超えているものについて、リスク低減対策を検討します。
- リスク低減対策の検討は、次の順番を参考に実施して下さい。
 - (1) 機械など本質安全システムの導入。
 - (2) 保護カバーの検討。
 - (3) 作業の仕組みの改善。
 - (4) 保護具の使用を検討。
 - (5) 安全作業基準や技能教育などの対策。
 - (6) KY活動。
 - (7) 安全標識の設置などの検討。

[リスク低減対策の例]

| No. | リスク低減対策 |
|-----|----------------|
| 1 | ①作業前に整理、整頓する |
| | ②歯の接触予防装置を使用する |
| 2 | ①割刃を使用する |

- リスク低減対策の検討後、再度リスクの見積り・評価を行い、許容可能かどうかを確認します。

[対策後のリスク見積り・リスク評価の例]

| No. | リスク低減対策 | 対策後のリスク見積り(予測) | | 対策後のリスク評価(予測) |
|-----|---------|----------------|-----|---------------|
| | | 可能性 | 重大性 | リスクレベル |
| 1 | ① | ○ | △ | 2 |
| | ② | ○ | ○ | 1 |
| 2 | ① | ○ | △ | 2 |

上記のリスクへの対応は、次のように考えることができます。


| リスクレベル | リスクへの対応 |
|--------|--------------------------------------|
| 2 | 許容可能なリスクであり、現時点では特に対策の必要がない(残留リスクあり) |
| 1 | 受け入れ可能なリスクであり、対策の必要がない(残留リスクあり) |

- 改善にあたり考慮すべき事項を検討し、優先順位を決め、リスク低減対策を実施して下さい。

ステップ5

内容の記録

■ステップ1から4の内容を記録し、保存して下さい。

- 誰が行うか  事業者や現場管理者が中心になって
- この記録は、リスクの低減対策の実施や今後のリスクアセスメントの資料とします。